

災害情報研究会の活動

2016年5月25日

特定非営利活動法人 事業継続推進機構(BCAO)
災害情報研究会

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

活動頻度、メンバー

活動頻度

2006年度から計105回実施、毎月1回開催

16年度で
11年目

災害情報研究会メンバー

(2016年5月現在：22名、順不同)

	氏名	会社名	氏名	会社名
座長	市川 啓一	(株)レスキューナウ危機管理研究所	上倉 秀之	(株)セノン
副座長	橋元 正美	清水建設(株)	前田 良二	富士火災海上保険(株)
副座長	高橋 克彦	インフォコム(株)	高木 雄司	(株)富士通エフサス
	野田 浩二	アジア航測(株)	新免 國夫	岡山県
	東根 聡	(株)建設環境研究所	武多 信幸	ヤマハ(株)
	副島 紀代	(株)大林組	富田 邦裕	(株)建設環境研究所
	若林 亮	(株)イー・アール・エス	松岡 晶子	富士通エフ・アイ・ピー(株)
	大島 啓一	(株)富士通マーケティング	梅田 浩史	リスクマネジメントオフィス梅田
	三島 和子	三井住友海上火災保険(株)	赤堀 三代治	ARMS
	南部 世紀夫	清水建設(株)	國貞 至	(株)リッジ
	西濱 靖雄	西濱防災ネット技術事務所	海老澤 聡	(株)湘南スタイル工房

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

活動風景



(BCAO日本橋オフィスにて)

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

研究内容のご紹介

研究テーマ

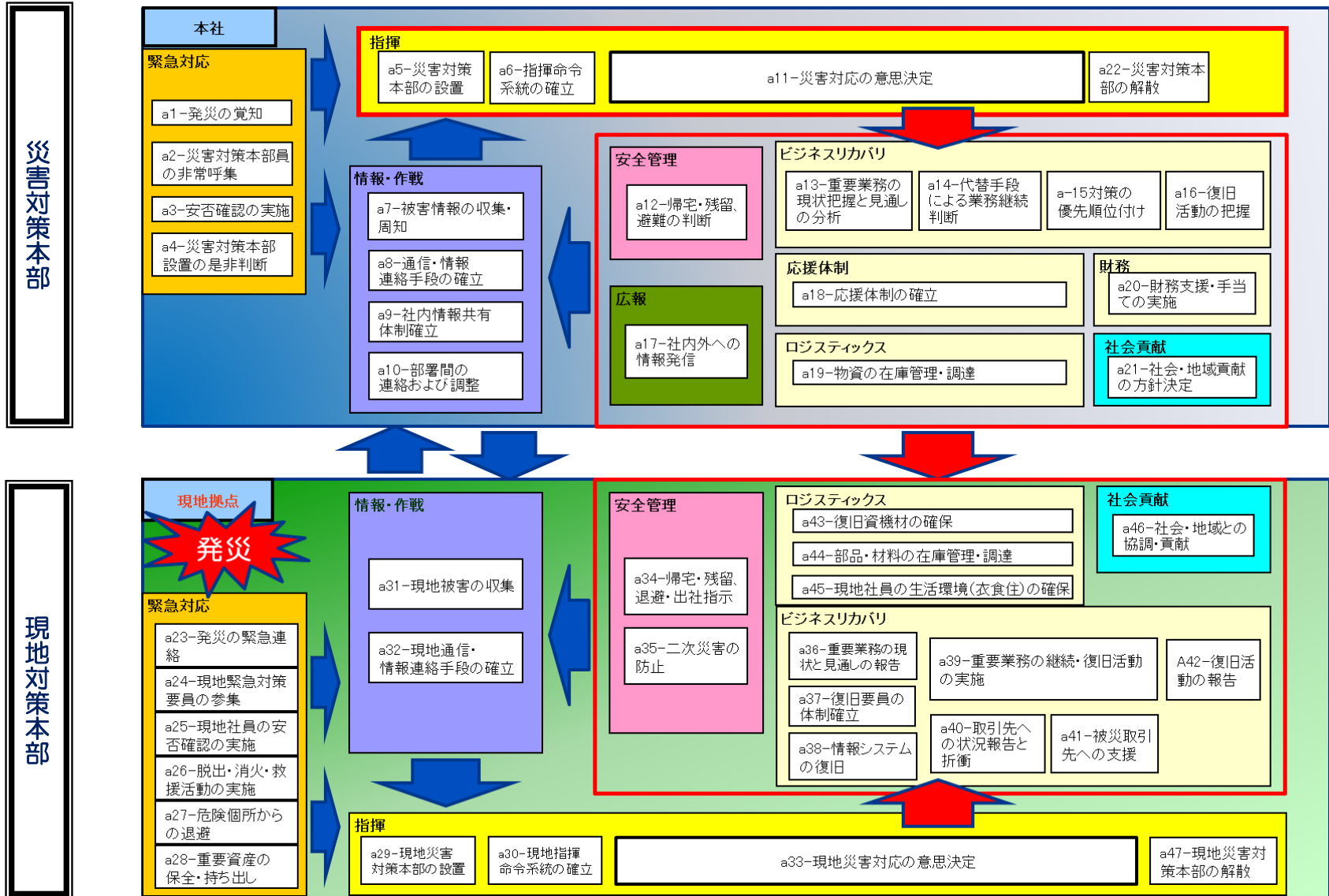
災害時の情報シミュレーションを行う

研究概要

- ① 災害発生直後の初動対応や復旧活動を迅速・的確に行うために必要なアクションと情報項目を抽出
- ② 情報をどこからどのように入手するかを整理
- ③ 各アクション別に情報の流れをフロー図にして見える化
- ④ フロー図を汎用性のあるアクションカードに整理

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

検討① 災害対応フロー図のまとめ



※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

検討② インプット／アウトプット情報の整理

アクションの実行に必要な情報（インプット情報）と、実行した結果発信される情報（アウトプット情報）を抽出

(例) a1、a2、a3

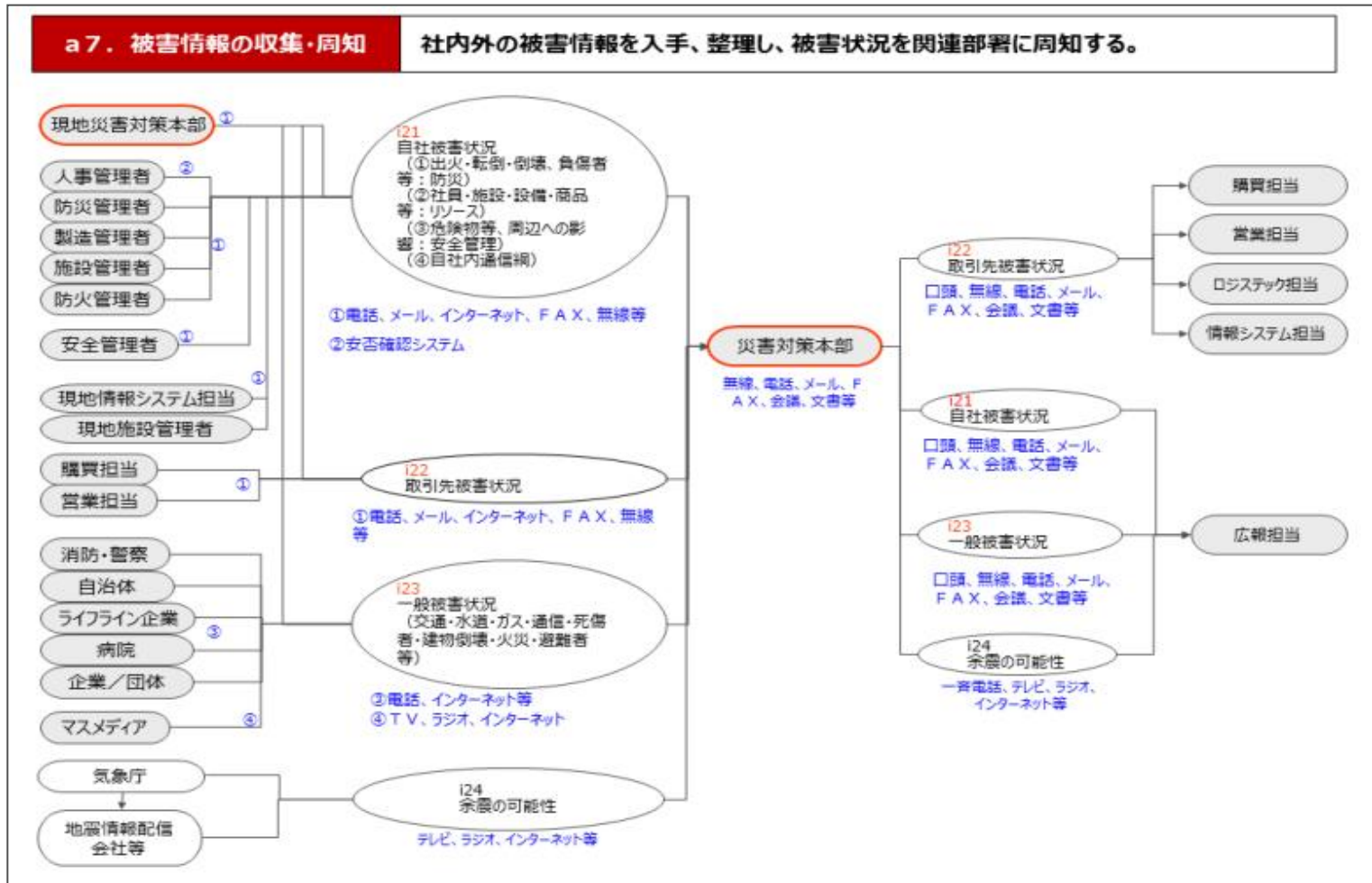
アクション	インプット	アウトプット
a1-地震の覚知	i1-地震の規模・地域（マグニチュード・震源・震度・到達時間・津波の有無）	i4-規定以上の地震情報（地域・震度）
	i3-緊急対応基準	
a2-災害対策本部設置判断情報の収集	i4-規定以上の地震情報（地域・震度）	i87-災害対策本部設置判断情報
	i5-非常呼集対象者名簿	i7-参集状況（集合・呼集回答等）
	i6-非常呼集実施基準	
a3-安否確認の実施（家族を含む）	i1-地震の規模・地域（マグニチュード・震源・震度・到達時間・津波の有無）	i10-安否確認回答（個人）
	i4-規定以上の地震情報（地域・震度）	i11-安否確認集計結果
	i8-安否確認実施基準	i18-災害対策本部員のスケジュール
	i9-社員名簿	

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

検討③ アクション項目別フロー図の作成

情報の流れをフロー図にして見える化

(例) a7: 被害情報の収集・周知

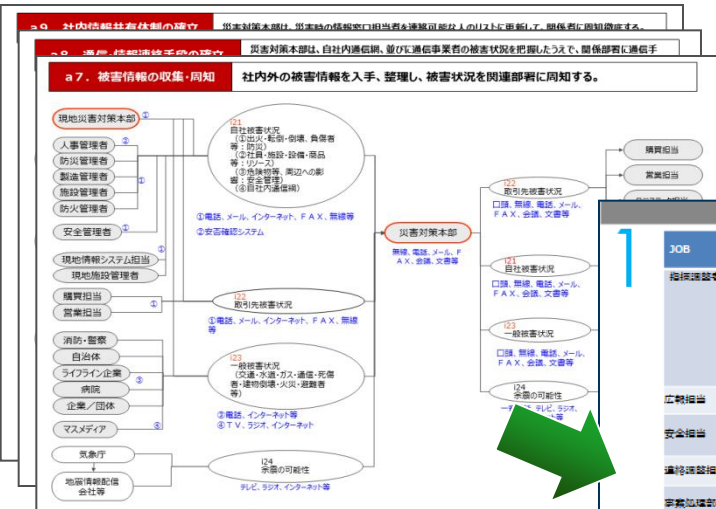


※ 本資料の文責は研究会にあり、BCA0全体の見解ではありません。

検討④ アクションカードの作成

アクション項目別フロー図を汎用性のある「BCPアクションカード」として展開可能な形へ

(フロー図)



(企業での実用化)

BCP発動後の体制 (災害対策本部)

JOB	担当部門	アクション番号
指揮運営者	指揮運営者	A-4 災害対策本部設置の最終判断 A-5 災害対策本部の設置 A-6 指揮命令系統の確立 A-12, A-34 備忘・放棄、避難の判断 A-21 社会・地域貢献の方針決定 A-32 災害対策本部の解散 A-29 現地災害対策本部 (東京) の設置 BCPの発動から対策本部の解散までの指揮を行う。 A-48 現地災害対策本部 (東京) の解散
広報担当	広報課	A-17 対外的な情報発信
安全担当	CSR・リスク	A-1 防災の発知 A-2 災害対策本部員の非常呼集 A-3 安全確認の実施 (脱退を促す)
連絡調整担当	経営企画課	
業務支援部門	総務課	
情報作動部門	IT企業課	A-7 被害情報の収集 A-9 情報共有体制の確立 A-10 緊急時の連絡および確認
災害管理部門	総務課	A-13 重要業務の稼働把握と負担しの分析 会社インフラの稼働状況確認する。
原状対策部門	財務経理部	A-8 通信・情報連絡手段の確立 A-19 物業の在籍管理・連絡 A-20 財産管理・手当ての実施

(汎用化)

アクションカード No.A-7

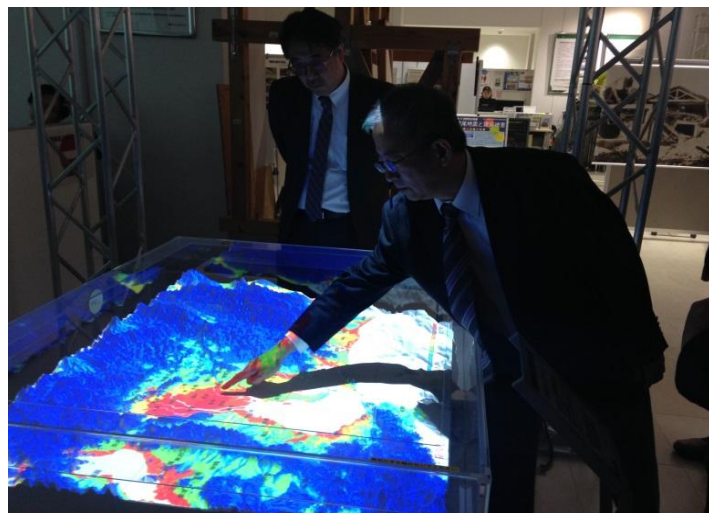
項目	被害情報の収集・周知	責任者	災害対策本部長	
社内外の被害情報を入手、整理し、被害状況を関連部署に周知する。				
No	目標時間	アクション手順	担当者	アクションに必要な情報の入手・伝達方法
1		自社被害状況を収集する (現地社員・関係者、現場システム担当者、各管理者)		詳細は、A-7-1参照
2		取引先被害状況を収集する (購買担当・営業担当)		詳細は、A-7-2参照
3		一般被害状況を収集する (メディアや現地関係者等)		詳細は、A-7-3参照
4		余震の可能性を確認する (気象庁・地震情報配信会社等)		詳細は、A-7-4参照
5		自社被害状況を整理・周知する (広報担当へ)		詳細は、A-7-5参照
取引先被害状況を整理し周知する (購買・				

BCPアクションカード

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCA0全体の見解ではありません。

2015年度実施内容（減災館見学会）

11月に名古屋大学減災館への見学会を実施、9名参加



※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

2016年度活動計画①

「BCPアクションカード」の完成

(例) A-1：地震の覚知

アクションカード No.. A-1					
項目		地震の覚知		責任者	
地震の発生を緊急対応要員が迅速に覚知し、規定以上の地震かを判断する。					
チェック	No	目標時間	アクション手順	担当者	アクションに必要な情報の入手・伝
<input type="checkbox"/>	1		気象庁（地震情報配信会社）から地震の規模・地域・マグニチュード・震源・震度・到達時間等を入手確認する。		報道（TV、ラジオ）、
<input type="checkbox"/>	2		現地社員対応者から発災直後の発生事象を確認する。		メール、携帯電話、FAX等
<input type="checkbox"/>	3		規定以上の地震かを判断し、緊急対応チームを招集する		災害対策マニュアル等の招集基準
<input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/>					

完成目指して今年こそ合宿!?



※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

2016年度活動計画②

東日本大震災復興状況見学 & 研究会合宿を実施予定



千年希望の丘 整備イメージ
(出典：岩沼市)



岩沼みんなの家

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

最後に



みなさまの入会を
お待ちしております♪



(災害情報研究会恒例 紅白歌合戦)

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。